

郷土杉並の歴史を知ろう!

歴史の宝庫、郷土博物館を利用してみませんか

郷土博物館(本館)

◆自主学習に利用してみませんか。

児童・生徒の皆さんの自主学習を支援します。杉並の歴史について調べたいことがあれば博物館に相談に来てください。

【常設展示】

郷土杉並の太古から現代までの3万年の歩みについて、次の4つのテーマから紹介をしています。

- ①**原始・古代**：遺跡の分布や出土した土器などから生活や道具の移りかわりを見ることができます。
- ②**中世**：武蔵野の村の成立と板碑などから当時の道を探ることができます。
- ③**近世**：畑作を中心とした江戸の近郊農村・宿場町として発達した杉並の村人たちのくらしぶりを見ることができます。
- ④**近現代**：井伏鱒二の「荻窪風土記」などを通して、近郊農村から住宅地へと発展してきた杉並の姿を見ることができます。

◆夏休みの子どもたち集合!

夏休みの自由研究として、小・中学生を対象に「勾玉作り」などの「子供博物館教室」を開催します。詳しくは、広報すぎなみ、郷土博物館ホームページなどでお知らせします。

◆昔のくらしに触れてみよう!

江戸時代後期に建築され移築復原された古民家では、地域のNPO団体との協働により、土・日・祝日の午後、囲炉裏に火を入れてあります。石臼や肥桶(こえおけ)をてんびん棒でかつくなど昔のくらしが体験できます。また、季節ごとに小・中学生を対象に体験教室を開催し、年中行事の飾り付けもご覧になれます。

本館の催し物

◆準常設展「杉並文学館 -井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士-」

特集「石井桃子 -子どもと本との幸せな出会いを求めて-」

【期間】8月28日(日)まで



石井桃子氏

写真提供：公益財団法人東京子ども図書館

毎年開催する「杉並文学館」では、井伏鱒二を中心とした杉並ゆかりの作家たちを紹介しています。その展示の中で今回は、荻窪に居住していた児童文学者で杉並名誉区民の一人である石井桃子を特集します。

◆写真展

「杉並史跡散歩

-成宗・田端両村界隈を歩いてみよう!-

【期間】平成24年1月15日(日)まで

《郷土博物館本館》

【場 所】大宮1-20-8 【開館時間】午前9時~午後5時

【休館日】毎週月曜日・毎月第3木曜日

(祝日・休日の場合は翌日が休館日)、年末年始(12/28~1/4)、※夏季の臨時休館は、2面をご覧ください。

【観覧料】100円(中学生以下無料)、20名以上の団体は1人80円 【電 話】3317-0841

皆さんは、郷土博物館を利用したことがありますか。郷土博物館は、皆さんの郷土である杉並の成り立ちについて、幅広く区民、児童・生徒の皆さんに知っていただき、明日の杉並を考えていただく学習の場として、展示会をはじめ講座・講演会、体験教室や年中行事など様々な事業を行っています。特に近年は、博物館活動への積極的な参加を求める区民の声に応じて、参画・協働による事業運営や参加体験型事業の充実も図っています。

杉並の歴史について「知りたい」、「調べたい」と思ったら、杉並の歴史が一番よくわかる郷土博物館を訪れてみてはいかがでしょうか。

郷土博物館(分館)

◆区民参加型展示

「杉並の職人展~職人は何を守り何を伝えたのか~」

【期間】9月18日(日)まで

この展示は、自主的に地域の調査や研究を行っている区民団体の参画により企画・実施するものです。今回は、私たちの生活に身近な存在であった区内の提灯、地下足袋や鍛冶職人の方々を紹介します。



◆企画展「はかる道具」

【期間】8月21日(日)まで

《郷土博物館分館》

【場 所】天沼3-23-1天沼弁天池公園内

【開館時間】午前9時~午後5時

【休館日】毎週月曜日・毎月第3木曜日

(祝日・休日の場合は翌日が休館日)、年末年始(12/28~1/4)

※夏季の臨時休館は、2面をご覧ください。

【観覧料】無料 【電 話】5347-9801

「杉並の目指す教育」を実現するために

~新教育ビジョンの策定~



第2回 教育ビジョン策定委員会の様子

○新教育ビジョンとは

教育委員会では、平成17年1月に「教育ビジョン」を策定し、平成16年度から平成22年度までの杉並の目指す教育、教育改革の方針を示し、施策の重点化を図ってきました。

平成23年度は、これまで取り組んできた事業の成果や課題等を踏まえ、今後の10年間(平成24年度から平成33年度まで)における「杉並の目指す教育」を実現するための指針となる「新教育ビジョン」の策定を行います。策定にあたっては、様々な角度から幅広く検討するため、学識経験者・区民・学校関係者等からなる「教育ビジョン策定委員会」を設置しています。なお、策定委員会の開催日程・会議録等は教育委員会のホームページでご覧いただけます。

○策定スケジュール(予定)

区民等の意見提出手続に加え、その期間中に多様な意見を議論する場として教育シンポジウムを開催するなど、区民の皆さんの声を広く反映させながら策定していきます。

平成23年5月~11月	原案検討
平成23年12月~平成24年1月	原案作成、区民等の意見提出手続
平成24年1月	教育シンポジウム
平成24年3月	教育委員会決定

図書館で待っています！



学校図書館

子どもたちの学びを支える学校図書館が、「学習センター」、「読書センター」としての役割や機能を十分果たせるよう、司書等の資格を有する「学校司書」を区立中学校全23校と区立小学校21校合わせて44校に配置しています。

「学校司書」はこんな仕事をしています！

- ◆ 学校図書館の開館、本・資料等の整理や管理、広報活動を行います。
- ◆ 読み聞かせや読書相談、学校図書館の使い方の説明を行います。
- ◆ 区立図書館等と連携し、授業で使う本・資料を収集します。

学校司書からのメッセージ



毎日、先生方や図書ボランティアの方々と連携を図りながら仕事をしています。

たくさんの児童が、勉強の資料を探しに、あるいは好きな本を読みに来る学校図書館に集まります。

今年度は、学年ごとに推薦図書を読んで、「読書感想メモ」を書くことにチャレンジしています。

馬橋小学校では、夏休みに児童だけでなく保護者や地域の方々にも利用していただけるよう学校図書館を開館する計画を立てています。

おすすめの図書がたくさんありますので、これからも学校図書館にきてくださいね。

問合せ(学校司書の配置): 教育人事企画課教育人事係

区立図書館

区内13カ所の区立図書館では、調べ学習資料から読み物まで、様々な本を取りそろえて、皆さんをお待ちしています。楽しいイベントも計画中です。夏休みは図書館に行ってみよう！

- ◆ 中央図書館の2階には、小・中学生用に、夏休みの自由研究や、宿題、調べ物などにも役に立つ調べ学習室があります。自由にご覧いただけますので、どうぞご利用ください。



ゆっくり読書もできますよ！

調べ学習室の開いている時間

- ◆ 午前9時～午後5時まで(ただし、貸出はできません)

問合せ: 中央図書館 ☎3391-5754

その他、区立図書館についての詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

あらゆる相談をお受けします 済美教育センター



済美教育センターは、学校の様々な課題に対して個別具体的に多様な支援を行うとともに、保護者や地域の方々の様々な相談に対応する機関です。

学校・園への支援と教員の資質向上を図ります

区立学校・幼稚(子供)園教育の総合支援センターとして、幼児・児童・生徒の学力・体力向上を目指し、自立と責任のある学校・園づくりに対して充実した支援を行うとともに、教員の資質向上を図ります。このため、センターでは、指導主事や退職校長等が教育課程、調査研究、国際理解教育を担当し、様々な学校の要望に応えながら、各種研修を通じて、教員の力量アップに取り組んでいます。

保護者や地域の方々の教育相談に応じます

いじめや不登校、その他子育ての問題解決に向けた支援を図るため、来所や電話による教育相談を受け付けています。また、今年度は、センター内に新たに教育支援担当課を新設し、発達障害や特別支援教育にかかわる相談の充実も図っています。このため、指導主事、退職校長の他に心理士やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、保護者や地域の方々の多様なニーズに応えるための体制を整えています。

済美教育センター

〒166-0013 杉並区堀ノ内2-5-26

◎代表電話 ☎3311-0021

(指導方法・指導内容等)

◎教育支援担当課 ☎3311-1921

●教育SAT電話相談 ☎3317-1190

(いじめ・不登校等)

●特別支援教育担当 ☎3311-0050

(就学相談)

▶ 夏の臨時休館について(7~9月) 東日本大震災に伴う夏の電力需給に応じた節電対策を実施するため、教育施設では次のとおり通常休館日に加え、臨時休館日を設けさせていただきます。

科学館: 毎週日曜日・祝日(臨時休館は行いません)

郷土博物館本館・分館: 毎週月曜日・毎月第3木曜日(通常)、毎週火曜日(臨時)

図書館: 柿木・高円寺・阿佐谷・南荻窪・高井戸・方南・今川 …… 毎月第1月曜日・第3木曜日(通常)、毎週月曜日(臨時)

永福・宮前・成田・西荻・下井草 …… 毎月第1・3木曜日(通常)、毎週木曜日(臨時)

中央図書館 …… 毎月第1・3木曜日(臨時休館は行いません)

☎休館日が祝日にあたる場合や、その他区立施設の臨時休館の詳細は、教育委員会ホームページをご覧ください。

子どもたちをみんなで育てる ～保護者だからできること～

PTA活動は、子どもと一緒に地域への一歩を踏み出すチャンスです！

PTAという言葉から皆さんが受け取られるイメージはどんなものですか？「学校を応援する団体」、「保護者同士のつながりを育む機会」、「子どもの育つ地域環境を良くしようとがんばっている人たち」などでしょうか。

普段何となくPTA活動を受け止められている方も多いと思いますが、一般的にその目的は「子どもの幸せの実現をめざして、保護者と教師が互いに学び合うと共に協力して実際に活動する団体」といわれています。各PTA組織は、学校単位で皆さんが自発的に組織しているもので、所属するPTAの会則には、より具体的に目的や活動が書かれていることと思います。

教育委員会では、子どもを真ん中に、大人同士が学び合い、協力関係を育んでいくPTA活動の重要性に鑑み、その運営がスムーズにいくような活動支援を行っています。また、地域で家庭教育の機会をつくる中心的な団体として、PTA等と共催で家庭学級を開催するなど、以下のような様々な取組を行っています。

PTA活動セミナーの開催

はじめてPTA活動に関わる役員や委員の方々が、活動の意義を確認し、年間の見通しをもって活動していけるよう、毎年5月にPTA活動セミナーを開催しています。

参加者は、例年1,000人を超え「子育てを振り返る場なのだと思います」、「PTAのあり方など活動方法が分かって良かった」などの感想が寄せられています。セミナーを通して、教育について改めて考えたり、PTA活動に必要な知識を深めていただく機会になっています。



PTA活動セミナー

PTAハンドブックの発行・配布

お子さんの入学によって、はじめてPTAに関わるようになった小学1年生と中学1年生の保護者の方々に配布しています。PTA活動のめざすものや具体的な運営のコツとともに、PTAと関係が深い地域の組織や委員などについての解説、関連する区の窓口の連絡先や区内施設一覧も載っていますので、子どもたちを支える地域のしくみを知ることができます。



6月1日から配布

問合せ (PTA活動の支援) : 教育改革推進課学校支援係

みんなで 家庭の教育力 を育てませんか

子どもの言語や考え方、行動は、周りの環境に大きく影響されます。その人間形成の基本を培う場として家庭内の教育が大きな役割を担っています。しかし、核家族世帯が一般的であったり、地域の間人関係が希薄で子育てについて相談できる相手がいない環境の方も多く、不安をかかえる保護者が増えています。

社会教育センターでは、区内PTAや地域団体との共催により「家庭学級」を開催し、身近なところで相談したり、助け合ったりする関係づくりを行っています。(平成22年度実績30団体)



家庭学級の開催

学習会や講習会を自分たちの手で開催し、毎日の生活の中で感じる子育てや子育てについての疑問や素朴な思いを語らいの中で分かち合い、次へと繋げていきませんか。なお、開催団体を対象に、より質の高い「家庭学級」の活動が行えるよう「家庭教育フォーラム」を12月初旬頃開催する予定です。

開催例

不登校・思春期と向き合う

ポレポレ(保護者が中心となった地域団体)全2回開催

ワークショップや学習会に参加した、不登校・思春期の子を持つ親が、それぞれの現状や課題を言葉にし、それに基づいて話を広げました。各々子どもの将来に不安を感じていることが分かり、そのネガティブな感情に向き合う作業をしました。その感情の元は、子どもの幸せを願う気持ちであることに気づきましたが、親の考える幸せは、子どもの考える幸せと違う場合があることを知りました。また、2回目では一貫性を持って、子どもを「受け止める」ための心得、工夫について話が出ました。どのような場面で受け止め難くなるのかを出し合い、自分は何を理想としているのかに向き合いました。親自身がまず自分を受け止め、大切にすることが相手を受け止めることの第一歩だということを知りました。
講師：谷口英子(心理カウンセラー)

問合せ(家庭学級) : 社会教育センター ☎3317-6621

世界に触れる8日間



～夏のユネスコ教室に参加してみませんか！～

東日本大震災による原発問題は、私たちの生活の安全や平和について身近に考える機会になりました。杉並ユネスコ協会では、青年部の高校生や大学生が震災後に募金活動などの被災者支援を自主的に行ったり、広島スタディーツアーで原子力の問題について異国の学生も交えて議論するなど、これまでも平和について考えてきました。

今回は、青年部が企画する宿泊キャンプなど、約1週間の学習プログラムを開催します。世界各国からの外国人学生との異文化交流体験もあり、国を超えた友情を育むことができます。この夏、キャンプや異文化交流体験を通して、身近な平和について考えてみませんか。



【開催期間】 7月25日(月)～8月2日(火) ※31日は休み

【場所】 富士学園(山梨県南都留郡忍野村忍草2997)、セシオン杉並ほか

【日程】 開級式 7月25日(セシオン杉並) 午前9時30分～正午
事前学習 7月26日(セシオン杉並) 午前9時30分～午後4時30分
7月27日(セシオン杉並) 午前9時30分～正午
宿泊学習 7月28日～30日(2泊3日 富士学園にて)
大使館訪問 8月1日
閉級式 8月2日(セシオン杉並) 午前9時30分～正午
(宿泊のみの参加も可能です。)

【プログラム】 ウォークラリー、キャンプファイヤー、ナイトウォーク、ゲーム大会、スポーツ大会など

対象 : 区内在住・在学の中中学生及び小学6年生 定員 : 30名(先着順)

参加費 : 2万円

申込み : ハガキ・ファクス・メールに「行事名、氏名(フリガナ)、年齢、性別、住所、電話番号、学校名、学年」を書いて社会教育センターへ

申込み期限 : 7月8日(金)

◎社会教育センター 電話 3317-6621 FAX 3317-6620

〒166-0011 杉並区梅里1-22-32

mail:shakyo-c@city.suginami.lg.jp

へん知る



みんなの学校にも来るかも!? 広報番組「すぎなみニュース」(15分番組)

「すぎなみニュース」は、ケーブルテレビ・ジェイコム東京(杉並・府中エリア)で好評放映中の杉並区広報番組です。区内の出来事やイベント、学校の取組やクラブ活動などを取材し、子どもたちの元気な姿を紹介しています。ご家族皆さんで、ぜひご覧ください!

(平成23年度に取材した学校) 馬橋小、桃井第一小、方南小、杉森中

放送日 : 毎週 日曜日～土曜日(1週間同じ内容を放送します。)

放送時間 : 午前9時15分、午後0時15分、午後8時

チャンネル : ジェイコム東京(デジタル11ch、アナログ2ch)

「歯の衛生に関する作品」の入賞作品が決定しました！

「歯の衛生に関する作品募集事業」は、杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会の主催により、「歯の衛生週間（6月4日～10日）」にあわせて毎年実施されています。今年も区立小・中学校の児童・生徒から2,329点の作品の応募があり、6月25日（土）にセシオン杉並で優秀作品の表彰式が行われました。



《区長賞》
井荻中学校2年 高橋 瑠佳



《会長賞》 松庵小学校2年 正富 理子



《会長賞》 桃井第一小学校4年 伊藤 俊

図画・ポスターの区長賞及び会長賞の3作品と標語の金賞作品のうち1作品（高井戸小学校5年中川昂政さん）、作文については応募頂いたすべての作品を東京都の作品募集コンクールにそれぞれ杉並区代表作品として出品します。

図画・ポスター入賞者

- 《金賞》 桃井第二小学校2年 沖増 彦
 杉並第二小学校4年 西本 呼白
 井荻中学校2年 天野 智永
 井荻中学校2年 吉富 帆乃夏
 井草中学校2年 北出 綾子
- 《銀賞》 6名（小学校 4名・中学校 2名）
 《銅賞》 5名（小学校 3名・中学校 2名）
- 作文入賞者
 《銀賞》 2名（小学校 2名）

問合せ：学務課保健給食係

標語入賞者

- 《金賞》 富士見丘小学校2年 大林 佳奈
 富士見丘小学校3年 猪原 祥太
 松庵小学校5年 小熊 峻介
 高井戸小学校5年 中川 昂政
 高井戸小学校5年 吉里 昇大
 大宮中学校3年 大野 愛友実
 向陽中学校3年 木村 裕妃
 富士見丘中学校3年 田窪 玲美
 西宮中学校3年 田中 友紀子
- 《銀賞》 12名（小学校 7名・中学校 5名）
 《銅賞》 10名（小学校 4名・中学校 6名）

私たちにできること～東日本大震災復興支援～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災からもうすぐ4ヶ月が経ちます。「自分にできること」を一人ひとりがそれぞれの立場で考え、行動すること、それらを継続していくことが大切だと感じています。

震災後、区立小・中学校では、被災地域への教員派遣の他、物資の寄付など様々な支援活動を行っています。今回はその活動の一部をご紹介します。

■被災地への手紙

65年前、宮城県登米市へ集団疎開をしていた桃井第三小学校では、その恩返しの気持ちを込めて同市の避難所の子どもたちを応援する手紙を書きました。他にも震災後に児童が立ち上げた“ボランティア委員会”を中心に1円と5円を集める『イチゴ募金』や手作りの節電チェックシートで各教室を毎日点検するなど、自分たちにできることを続けています。



熱い想いを手紙に託しました。

■募金活動

教育施設等に設置している募金箱には、多くの方々からの善意が寄せられています。各学校では「何か力になりたい」という強い思いから、児童や生徒たちが中心となった募金活動が行われています。集まったお金は、区と協定を結んでいる南相馬市等へ送られ、復興支援に役立てられます。（区での募金受付は9月末まで行っています。）



阿佐ヶ谷中学校の募金活動。大きな声で道行く人たちに支援を呼びかけました。

教育委員が行く、見る、聞く。

6月8日、田中委員が杉並第四小学校を訪れ、授業を参観しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校等にも足を運び、教育の今を見聞しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。

杉並第四小学校は、開放的でモダンな造りの校舎内に併設されている高円寺北子供園との幼小連携教育のほか、近隣の高円寺中学校との小中一貫教育の取り組みを盛んに行う特色ある学校です。

具体的な取り組みとして、月曜日から木曜日は、高円寺中学校の教員が杉並第四小学校で5・6年生の授業を受け持ち、金曜日には5・6年生が高円寺中学校で一日学習しています。

この日、田中委員は杉並第四小学校を訪れ、6年生の国語の授業を参観し、休み時間には児童達とふれあうなど、交流を深めました。



はじめに校長先生のお話を伺い、6年生の中学校教員とのTT（チームティーチング）による国語の授業を参観させていただきました。「徒然草（第92段）」の学習でした。大きな声を出して読むこと、何度も何度も読むことにより、昔の人の考え方、言葉の意味を知り、想像し考えることにつながります。先生は子どもの様子を捉え、わかりやすく授業を進めていらっしゃいました。授業終了後、子どもたちに感想を聞きました。「先生は怖いと思ったけどそうでもない」、「最初は緊張したけどわかりやすい」、「中学へ行っても古文がわかるからいい」など元気に応えてくれました。

子どもたちは、小・中学校というそれぞれ違う枠組みの中で成長しますが、小学校で教わったことが中学校でも役に立つんだと言うように子どもたちが感じることで、安心できることが本当の意味の小中一貫ではないでしょうか。

杉四小の「ゆるやかな接続」を大切に、学校、地域とも共有・協働し大勢の人の関わりの中で成長して欲しいと願います。

—田中委員から—

▶▶▶ 教育委員会の動き（平成23年3月～5月）

【教育委員会開催状況】 ・定例会 5回 ・臨時会 2回 ・議案 42件 ・報告事項 19件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

◎東日本大震災に対処するための杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等の特例に関する規則

◎新教育ビジョンの策定方針について

○平成23年度中学校教科用図書及び特別支援教育教科用図書の採択事務について

○平成23年度小・中学校への学校司書の配置について

○杉並区立高井戸第二小学校改築工事の基本設計について

◎その他教育委員会に関する規則等の改正

○平成22年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査：結果概要

○社会教育施設等における夏季の臨時休館等について

●再生紙を使用しています